

## 今、気を付けること

茗溪塾塾長 長谷誠基

11月に入り、大分秋めいた気候になってきました。学校では中3生は11月の定期試験が行われ、いよいよ内申点が確定します。また、26日の日曜日には東京都で2年目となる都立高校の英語スピーキングテストがあります。大学入試では推薦入試の合格者が始まる、小6生は12月入試がいよいよ目前という時期になり、一気に受験が目の前にやってきた感じになります。

この時期は中3生などは学校でも三者面談が行われ、いよいよ受験校が確定してきます。模擬試験の結果も2つ3つと出てきますが、なかなか良い判定が出ない。または、過去問を4～5年分くらい解いてきているのに、一度も合格点が出ない。学校行事も忙しく、なかなか集中して勉強ができない。などのあせりが出始めてきます。保護者の方も不安に感じ、本人にやる気を促すために話をしますが、つい「家でももっと頑張らないとだめよ。」とか「塾でまじめに授業受けてるの？」なんて言ってしまう、「うるさい！」とか「ちゃんとやってるよ！」などと言われ、そこで会話がストップ。などの光景が毎年、どこかの家庭で数多繰り広げられます。保護者の方は塾での様子はなかなかわかりませんので、家でのだらけたようすや、成績がなかなか上がらないのを見ると言いたくなるのは当然です。本人としては自分なりに休みの日も塾に来て勉強したり、授業も頑張っているのにそう言われてしまうと、やはり言い返してしまうのは良くわかります。この会話はもう結果が分かっているので、しないほうが精神衛生上もよいと思います。ここで確認してほしいのは、本人の学習時間が増えているか？です。以前は授業のない日にはなかなか行かなかったのが行くようになったとか、毎日少し残って勉強してくるようになったとか、過去問ルームや志望校別特訓には休まずに通っているとか、増えている状況であれば、まずはよしです。もし、増えていなかったらすぐに先生に相談してください。すぐに手を打ってくれるはず。これからは塾で長めに勉強している状態が実は本人にとっても、一番楽に学習時間が増やせる方法ですので、日曜や冬休みなど長時間学習できるようにしていきましょう。もちろん家で集中して勉強できる生徒はそれでかまいません。

また、学習内容も入試前ですので、かなり難しくなり簡単には身につかない場合も出てきます。それでも、何度もあきらめずにやり直し勉強を続けた生徒がこれから成績を伸ばしていきます。今後、行われるイベント、合同特訓、茗溪模試、正月特訓などは受験生のやる気を引き出し、決意を固める場にもなります。積極的に利用していくと良いでしょう。